矢吹町立中畑小学校の4年生を対象に出前講座を実施

開催目的・概要

○矢吹町立中畑小学校の小学校４年生21名を対象に「阿武隈川の特徴と水害への対策・ひなんについて」と題した出前講座を実施。

○阿武隈川での洪水被害や治水対策、鏡石町・矢吹町・玉川村で整備中の遊水地の役割、緊急時の避難方法について説明。

日時・対象

➢日　　時：令和８年９月25日（金）１０：３０～１１：１５

➢対　　象：矢吹町立中畑小学校４年生21名（授業参観での実施）

児童からの質問

質問：どうして阿武隈川上流遊水地群は３町村にまたがって整備しているのですか。

回答：阿武隈川上流遊水地群は令和元年東日本台風と同規模の雨が降った場合でも、堤防からあふれさせずに流すことができるようにするために整備しています。そのためには、たくさんの水を溜めることができる広大な土地が必要となることから３町村にまたがって整備を進めています。

なお、この整備箇所はもともと水が滞留しやすい地形的特性があることから、この場所で整備を進めています。

実施状況



▲出前講座の様子



▲避難時の注意点について解説



▲遊水地のメカニズム・大きさを確認